

**別添資料**

**アンケート調査票**



令和7年度子ども・子育て支援推進調査研究事業  
こども家庭ソーシャルワーカー認定資格創設による効果の把握方法及び  
資格取得者の継続的な学びの場の在り方の検討に関する調査研究

## 認定資格の研修に関するアンケート調査（研修実施機関調査）

調査ご協力をお願い

こども家庭ソーシャルワーカー認定資格研修実施機関 各位

謹啓 時下、皆様方におかれましてはますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

弊社では、こども家庭庁より補助を受け、令和7年度子ども・子育て支援推進調査研究事業「こども家庭ソーシャルワーカー認定資格創設による効果の把握方法及び資格取得者の継続的な学びの場の在り方の検討に関する調査研究」（以下「本調査研究」）を実施しております。本調査研究は、こども家庭ソーシャルワーカー認定資格の研修の質を担保し、また制度の改善を図る観点から実施しております。

この度、本調査研究の一環として、こども家庭ソーシャルワーカー認定資格の研修実施機関の皆様を対象とし、研修の実施状況等を把握するためのアンケート調査を実施することといたしました。ご多用の折誠に恐縮ではございますが、本アンケート調査の趣旨をご理解の上、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

謹白

### 【回答上の留意点】

- 本調査は、**令和8年3月4日（水）**までにご回答をお願いいたします。
- 回答いただいたアンケート調査票は、調査事務局までメールでご返信ください。

返信先メールアドレス

### 【ご回答いただいたデータの取扱い・結果の公表について】

- 本調査結果の公表に際しては統計的処理を行い、事前のご了承なく個別の回答が分かる形での公表はいたしません。
- ご回答頂きました情報は、当社の「お客さまの個人情報保護に関するプライバシーポリシー」に則り厳重に管理します。
- 本調査結果をまとめた報告書は、令和8年4月以降、当社ホームページにおいて全文を公表する予定です。

### 【お問い合わせ先】

みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社 社会政策コンサルティング部

こども家庭ソーシャルワーカー認定資格創設による効果の把握方法及び

資格取得者の継続的な学びの場の在り方の検討に関する調査研究 事務局

メールアドレス：

【ご回答の方法について】

- 太枠内にご回答を記入してください。
- **選択式の設問では、当てはまる選択肢を○や□で囲むか、マーカーを引き、ご回答ください。**  
**※ワードファイル上部のリボンの「ホーム」>「フォント」欄よりお選びいただけます。**
  - (例 1) 回答欄の「1. 先着順」 → 「1.先着順」としてください。
  - (例 2) 回答欄の「1. 先着順」 → 「1.先着順」としてください。
- 非選択式の設問では、回答欄に直接ご回答をご記入ください。

**問 1 研修の申込・受講状況についてお伺いします。**

問 1-1.受講者の数を、ルート別にご記入ください。(数値回答)

※貴機関で実施していない研修種別の回答欄は、空欄のままとしてください。

※同じ種別の研修を複数回開催している場合、全ての回の受講者数を足し上げてください。

ルート	受講者数
指定研修の受講者のうち 社会福祉士・精神保健福祉士有資格者ルート【第 1 号】の者	人
指定研修の受講者のうち 社会福祉士・精神保健福祉士有資格者ルート【第 2 号】の者	人
指定研修の受講者のうち こども家庭福祉実務経験者ルート【第 3 号】の者	人
指定研修の受講者のうち 保育所等保育士ルート【第 4 号】の者	人
追加研修の受講者	人
SW 研修の受講者のうち こども家庭福祉実務経験者ルート【第 3 号】の者	人
指定研修の受講者のうち 保育所等保育士ルート【第 4 号】の者	人

問 1-2. 定員を超える申込者が発生した場合の受講者の決定方法について、当てはまるものをお選びください。(1つに○)

- |             |       |
|-------------|-------|
| 1. 先着順      | 2. 抽選 |
| 3. その他(具体的に | )     |

## 問 2. 研修の提供状況についてお伺いします。

問 2-1①. 各科目の実施方法をお選びください。(各科目について当てはまるものすべてに○)

- |           |              |
|-----------|--------------|
| 1. 参集・対面  | 2. オンライン・ライブ |
| 3. オンデマンド |              |

※見学実習については、事前学習・事後学習の実施方法をお選びください

研修	科目名	実施方法
指定研修	こどもの権利擁護	1・2・3
	こども家庭福祉分野のソーシャルワーク専門職の役割	1・2・3
	こども家庭福祉Ⅰ(こども家庭をとりまく環境と支援)	1・2・3
	こども家庭福祉Ⅱ(保護者や家族の理解)	1・2・3
	こども家庭福祉Ⅲ(精神保健の課題と支援)	1・2・3
	こども家庭福祉Ⅳ(行政の役割と法制度)	1・2・3
	こどもの身体的発達等、母子保健と小児医療の基礎	1・2・3
	こどもの心理的発達と心理的支援	1・2・3
	児童虐待の理解	1・2・3
	少年非行	1・2・3
	社会的養護と自立支援	1・2・3
	貧困に対する支援	1・2・3
	保育	1・2・3
	教育	1・2・3
	こども家庭福祉とソーシャルワークⅠ(多様なニーズをもつこどもや家庭へのソーシャルワーク)	1・2・3
	こども家庭福祉とソーシャルワークⅡ(こどもの安全確保を目的とした緊急的な対応に関するソーシャルワーク)	1・2・3
	こども家庭福祉とソーシャルワークⅢ(地域を基盤とした多職種・多機関連携による包括的支援体制の構築)	1・2・3
こども家庭福祉とソーシャルワークⅣ(組織の運営管理)	1・2・3	
追加研修	こどもの権利擁護と倫理	1・2・3

研修	科目名	実施方法
	こども家庭相談援助制度及び実施体制	1・2・3
	児童相談所の役割と連携	1・2・3
	こども家庭相談の運営と相談援助のあり方	1・2・3
	社会的養護と市区町村の役割	1・2・3
	こどもの成長・発達と生育環境	1・2・3
	こども虐待対応	1・2・3
	母子保健機関やこどもの所属機関の役割・連携及び こどもと家族の生活に関する法令・制度	1・2・3
	見学実習 I	1・2・3
ソーシャルワーク に関する研修	ソーシャルワークの基盤と専門職(講義)	1・2・3
	ソーシャルワークの理論と方法(講義)	1・2・3
	地域福祉と包括的支援体制(講義)	1・2・3
	ソーシャルワーク演習 I (演習)	1・2・3
	ソーシャルワーク演習 II (演習)	1・2・3
	見学実習 II (演習)	1・2・3

問 2-1②. 各科目の実施方法(対面・オンライン)を決定した理由をお選びください。令和6年度から継続して研修を実施している場合は、令和6年度から実施方法を変更した科目の有無とその理由についてもお書きください。

--

問2-3. 見学実習受入施設それぞれについて、①所在都道府県、②施設種別、③今年度の受入人数をご記入ください。

※②については点線枠内の選択肢から1つ選び、番号をご記入ください。

1. 児童相談所	2. 母子生活支援施設
3. 児童養護施設	4. 障害児入所施設
5. 児童発達支援センター	6. 児童心理治療施設
7. 児童自立支援施設	8. 障害児通所支援事業を行う施設
9. 乳児院	10. 教育機関
11. 児童自立生活援助事業を行っている施設	12. 子育て短期支援事業を行っている施設
13. 児童家庭支援センター	14. こども家庭総合支援拠点
15. 子育て世代包括支援センター	16. その他都道府県又は市町村の児童家庭相談業務を行う部署
17. こども家庭福祉の相談援助業務を行っている都道府県社会福祉協議会及び市区町村社会福祉協議会	

(例)東京都の児童養護施設にて5名を受け入れ、見学実習を実施した場合

	①都道府県	②施設種別	③受入人数
例	東京都	3	5
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			

10			
11			
12			
13			

問 2-4. 講義欠席時のインターネット等を活用したライブ配信等・オンデマンド形式等による講義を実施していましたか。(1つに○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 2-5. 演習欠席時の補習授業等を予め設けていましたか。(1つに○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 2-6. 演習・見学実習に関する代替措置を講じる体制はありますか。(1つに○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 2-7. 出席状況及び受講姿勢の把握方法を定めていますか。①講義、②演習、③見学実習それぞれについて当てはまるものをお選びください。(1つずつに○)

①講義

1. はい	2. いいえ
-------	--------

②演習

1. はい	2. いいえ
-------	--------

③見学実習

1. はい	2. いいえ
-------	--------

**問 3. 研修にあたっての工夫についてお伺いします。**

問 3-1. 指定研修において、認定資格に求められる専門性に沿って提供するカリキュラム内容を充実させるために、どのような工夫が行われていますか。(自由回答)

問 3-2. 認定資格に求められる実践的な能力を習得するために、具体的な援助場面を想定した実技指導等の工夫をどのように行いましたか。(自由回答)

問 3-3. 演習において、具体的な内容を含む事例等をどのように活用しましたか。(自由回答)  
(例:事例検討を●コマ実施した。複合的な課題への支援を遂行するための能力を習得させるため、運用にあたっては、●●等の工夫を実施した。等)

問 3-4. 追加研修やソーシャルワークに関する研修の実施にあたって、実践的な力を身に付けるために、どのような工夫をしていましたか。(自由回答)

問 3-5. 見学実習において、知識のみでなく、支援における姿勢や価値観等を取得できるよう、どのような工夫を行いましたか。(自由回答)

問 3-6. 講師の指導内容が各科目の到達目標に即した研修内容となるよう、どのような工夫を行いましたか。(自由回答)

問 3-7. 講師要件の妥当性について、ご意見があれば、ご記入ください。(自由回答)

問 3-8. 資格取得者を対象としたフォローアップ(研修や集会の企画、アンケートの実施等)の実施状況について、当てはまるものをお選びください。(1つに○)

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1. 実施している           | 2. 現在実施しておらず、今後実施予定 |
| 3. 現在実施しておらず、実施予定なし |                     |

問 3-9. 問 3-8 で「1. 実施している」または「2. 現在実施しておらず、今後実施予定」と回答した場合、実施(予定)内容を具体的にご記入ください。

問 3-8 で「3. 現在実施しておらず、実施予定なし」と回答した場合、実施予定がない理由や、今後どのような条件があればフォローアップの実施を検討可能か、ご記入ください。(自由回答)

--

**問 4. 令和6年度の試験内容・結果を踏まえた研修内容の見直し状況についてお伺いします。**

問 4-1. 令和6年度の試験内容・結果を踏まえ、今年度の研修内容に反映した点がありますか。  
(1つに○)

- |                |              |
|----------------|--------------|
| 1. ある →問 4-2 へ | 2. ない →問 5 へ |
|----------------|--------------|

問 4-2. 問 4-1 で「ある」と回答した場合、具体的に反映した内容についてお答えください。(自由回答)

--

**問 5. 他の研修実施機関との連携についてお伺いします。**

問 5-1. 他の研修実施機関との連携を行っていますか。(1つに○)

1. はい →問 5-2 へ

2. いいえ →問 5-3 へ

問 5-2. 問 5-1 で「はい」と回答した場合、実施した連携の内容をご記入ください。(自由回答)

問 5-3. 今後実施したい連携内容があれば、ご記入ください。(自由回答)

問 6. 研修を運用するにあたり、課題と感じられたことがあれば、ご記入ください。(自由回答)

# 認定資格の研修に関するアンケート調査 （指定研修）

[アカウントを切り替える](#)



共有なし

★注意：本調査票では、こども家庭ソーシャルワーカーの「指定」研修について、お答えください★

本調査は、こども家庭ソーシャルワーカーの研修の実施状況や受講状況について、全国の実態を把握することを目的に、研修受講者の皆様に回答を依頼しております。

お忙しいところ大変申し訳ありませんが、できるだけ速やかにご回答ください。

最終提出期限：【2026 2 23日（月・祝）】

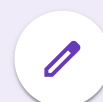
問合せ先(TEL)： ル／平日10-12、13-17時

問合せ先(メール)：

調査実施主体：みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社

問1 ご自身が所属する組織についてお伺いします。

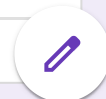
※現在所属組織がない場合は、本問を回答頂く必要はありません。



## 問1-1

所属する組織について、当てはまるものをすべてお選びください。

- 都道府県（児童相談所）
- 都道府県（その他）
- 市区町村（こども家庭センター）
- 市区町村（その他）
- 地域子育て相談機関
- 地域子育て支援拠点施設
- 乳児院・母子生活支援施設
- 児童養護施設
- 児童家庭支援センター
- 里親支援センター
- 児童発達支援センター
- 児童自立支援施設
- 児童心理治療施設
- 障害児入所施設
- 障害児通所支援事業所（放課後等デイサービス含む）
- 障害児相談支援事業所
- 保育所・認定こども園
- 家庭支援事業の実施事業所
- 高齢者福祉施設・事業所
- 障害者福祉施設・事業所
- 医療機関
- 学校・教育委員会
- 都道府県・市町村社会福祉協議会
- 求職中
- その他: \_\_\_\_\_



問1-2

あなたは公務員ですか。

- はい→問1-3へ
- いいえ→問1-4へ

次へ

1/20 ページ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)

Google フォーム



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 (指定研修)

[アカウントを切り替える](#)

共有なし

## 問1-3

公務員の場合、あなたが所属する自治体の種別を1つ、お選びください。

- 都道府県
- 市区町村（人口50万人以上）
- 市区町村（人口20万人以上50万人未満）
- 市区町村（人口10万人以上20万人未満）
- 市区町村（人口3万人以上10万人未満）
- 市区町村（人口1万人以上3万人未満）
- 市区町村（人口1万人未満）
- その他: \_\_\_\_\_

戻  
る

次  
へ

2/20 ページ

[フォームをクリア](#)

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)

Google フォーム



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 （指定研修）

[アカウントを切り替える](#)

共有なし

## 問1-4

雇用形態について、当てはまるものを1つお選びください。

※所属組織が複数ある場合は、児童の福祉にかかる相談援助業務を担う機会が最も多い組織についてお答えください。

正規雇用（管理職）

正規雇用（非管理職）

非正規雇用

その他: \_\_\_\_\_

[戻る](#)[次へ](#)

3/20 ページ

[フォームをクリア](#)

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)


## Google フォーム



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 (指定研修)

[アカウントを切り替える](#)



 共有なし

問2 ご自身の保有資格等についてお伺いします。

問2-1

保有資格について、当てはまるものをすべてお選びください。

- 社会福祉士
- 精神保健福祉士
- 保健師
- 看護師
- 助産師
- 保育士・保育教諭
- 教員免許
- 臨床心理士
- 公認心理師
- 介護福祉士
- 介護支援専門員
- 医師
- その他: \_\_\_\_\_



## 問2-2

受講済の研修について、当てはまるものをすべてお選びください。

- 児童福祉司任用前講習会
- 児童福祉司任用後研修
- 児童福祉司スーパーバイザー研修
- 要保護児童対策調整機関の調整担当者研修
- 基幹的職員研修
- 保育士等キャリアアップ研修（保護者支援・子育て支援）
- その他: \_\_\_\_\_

戻  
る

次  
へ

4/20 ページ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)

Google フォーム



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 (指定研修)

[アカウントを切り替える](#)



共有なし

問3 児童の福祉に係る相談援助業務への従事状況についてお伺いします。

問3-1

受講申込書類に記載された、児童福祉に係る相談援助業務に従事した期間をお答えください。（1年未満は切り捨て、単位：年）

1号と3号は「主として児童福祉に係る」相談援助業務の従事期間

2号と4号は「児童福祉に係る」相談援助業務の従事期間

※1号～4号は研修受講ルートを指しています

回答を入力

問3-2

現在、児童の福祉に係る相談援助業務にどの程度従事していますか。

- 業務の半分以上が、児童の福祉に係る相談援助業務である
- 業務の半分未満が、児童の福祉に係る相談援助業務である
- 現在は児童の福祉に係る相談援助業務に関わっていない

戻  
る

次  
へ

5/20 ページ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。


このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)



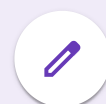
# 認定資格の研修に関するアンケート調査 (指定研修)

[アカウントを切り替える](#)



 共有なし

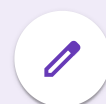
問4 研修受講状況の概要についてお伺いします。



## 問4-1

指定研修を受講した研修実施機関をお選びください。

- 淑徳大学
- 日本福祉大学
- アルファ医療福祉専門学校
- 株式会社さくら
- 学校法人滋慶学園東京福祉専門学校
- 全日本ソーシャルワーカーラボ（一般社団法人家庭まち創り政策ラボ）
- 日本医療大学
- 早稲田大学人間科学学術院・社会的養育総合支援センター一陽・社会福祉法人麦の子会
- 一般社団法人日本ウェルフェアサービス協会
- 比治山大学
- 東北福祉大学
- 群馬医療福祉大学
- 公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会・公益社団法人 東京社会福祉士会 共催
- 特定非営利活動法人 chields
- 学校法人弘徳学園 豊岡短期大学
- 一般社団法人 SHIKOKU Design
- 学校法人草苑学園草苑保育専門学校
- 一般社団法人 こども支援・政策研究所



## 問4-2

指定研修を受講した研修実施機関を選定する上で重視したことをすべてお選びください。

- 研修の実施形式（オンライン・対面の比率）
- 研修の実施内容
- 研修の受講料
- 研修講師
- 研修の実施時間帯・曜日
- 対面形式の研修場所
- 所属機関等から受講機関を指定・推薦された
- その他: \_\_\_\_\_

## 問4-3

ご自身の研修受講ルートとして、当てはまるものを1つお選びください。

- 社会福祉士・精神保健福祉士有資格者ルート（第1号）
- 社会福祉士・精神保健福祉士有資格者ルート（第2号）
- 相談援助実務経験者ルート（第3号）
- 保育所等保育士ルート（第4号）

戻  
る

次  
へ

6/20 ページ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)

Google フォーム



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 (指定研修)

[アカウントを切り替える](#)



共有なし

問5 研修受講の経緯についてお伺いします。

問5-1

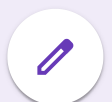
認定資格について、どのように知りましたか。

- 勤務先で知った（上司や同僚から情報を得た、組織の職員向けに案内があった、など）
- 社外の知人・関係者からの紹介で知った
- オンライン上で知った（SNSなどでの情報収集によって知った、など）
- 参加した会合等（学会・研修会等の機会や、所属する協議会等）で知った
- その他: \_\_\_\_\_

問5-2

認定資格の研修を受講するにあたり、所属組織からの勧奨を受けましたか。

- はい
- いいえ



## 問5-3

研修受講にあたって、期待したこととして、当てはまるものをすべてお選びください。

- こどもと家庭への相談援助の技能向上
- 関係機関との連携の技能向上
- 他職員へのスーパーバイズの技能向上
- 自己成長（特定の技能の向上に限らないもの）
- 受講者同士でのネットワーク形成
- 自身の資格取得による、専門家としての社会的信用度の向上
- 自身の資格取得による、組織の社会的信用度の向上
- 転職時のアピール材料となること
- 児童福祉分野の部局へ異動するためのアピール材料となること
- 児童福祉分野の部局へ勤務し続けるためのアピール材料となること
- 昇進・昇格
- 昇給
- その他: \_\_\_\_\_

## 問5-4

問5-3の選択肢以外に関することも含め、認定資格の研修受講にあたり、期待していたことを自由にお答えください。

回答を入力

---

戻  
る

次  
へ

7/20 ページ

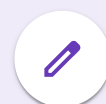
フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)



Google フォーム



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 (指定研修)

[アカウントを切り替える](#)



共有なし

問6 研修の内容・方法についてお伺いします。

問6-1

指定研修において、認定資格に求められる専門性に沿って必要な内容が網羅されていたと思いますか。

※認定資格に求められる柱とは、下記に示す3つの専門性の柱を指します。

- ①子ども家庭福祉を担うソーシャルワークの専門職としての姿勢を培い維持すること
- ②子どもの発達と養育環境等の子どもを取り巻く環境を理解すること
- ③子どもや家庭への支援の方法を理解・実践できること

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない

問6-2

指定研修における、具体的な援助場面を想定して行われていた実技指導等（ロールプレイング、グループワーク、事例検討等）は、実践的な能力を修得する上で役立ちましたか。

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない



## 問6-3

指定研修において、具体的な内容を含む事例等は、実践的な能力を習得する上で役立ちましたか。

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない

## 問6-4

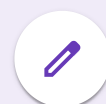
指定研修は、経験を踏まえた自己覚知や学びにつながる内容であったと思いますか。

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない

## 問6-5

指定研修の講義の中で、既に知っていた内容の割合はどの程度でしたか。

- 3割未満
- 3割以上6割未満
- 6割以上9割未満
- 9割以上



## 問6-6

指定研修において、各科目の到達目標を達成する観点から、実施形式（講義、演習）の在り方について、あなたの考えに最も近いものをお選びください。

- 講義の割合をもっと増やしてほしい
- 実施形式は適正であった
- 演習の割合をもっと増やしてほしい

## 問6-7

研修では研修参加者同士が対面で集まる機会がありましたか？

- あった →問6-8へ
- なかった →問6-10へ

戻  
る

次  
へ

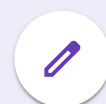
8/20 ページ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)

Google フォーム



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 (指定研修)

[アカウントを切り替える](#)

共有なし

## 問6-8

問6-7で「あった」を選んだ人にお伺いします。

対面で集まるには、費用も時間もかかりますが、対面での参集機会があったことについてどう思いますか。

- 対面での参集機会があってよかった
- あまり必要性を感じなかった

## 問6-9

問6-8でその選択肢を選んだ理由をお答えください。

回答を入力

戻  
る

次  
へ

9/20 ページ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)

Google フォーム



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 （指定研修）

[アカウントを切り替える](#)

共有なし

## 問6-10

問6-7で「なかった」を選んだ人にお伺いします。  
対面で集う機会はあったほうがよかったですか。

- あったほうがよかった
- あまり必要性を感じなかった

## 問6-11

問6-10でその選択肢を選んだ理由をお答えください。

回答を入力

戻  
る

次  
へ

10/20 ページ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)

Google フォーム



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 (指定研修)

[アカウントを切り替える](#)



共有なし

問7 研修の講師についてお伺いします。

問7-1

指定研修において、講師の指導は、期待水準を満たしていましたか。

- 8割以上の講師が満たしていた
- 5～8割程度の講師が満たしていた
- 2～5割程度の講師が満たしていた
- 2割未満の講師が満たしていた

問7-2

指定研修の演習科目における講師と受講者との比率の妥当性について、当てはまるものを1つお選びください。

- 妥当であった
- やや妥当であった
- あまり妥当ではなかった
- 妥当ではなかった

戻  
る

次  
へ

11/20 ページ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 （指定研修）

[アカウントを切り替える](#)



共有なし

問8 研修の受講に要した時間についてお伺いします。

問8-1

指定研修の受講（参集・対面形式で開催された科目全体）にあたって宿泊を行った日数の合計をお答えください。

（単位：日）

回答を入力

問8-2

指定研修の受講時間の取扱いとして、当てはまるものをお選びください。

- 業務時間内扱い
- 業務時間外扱い

問8-3

指定研修の受講時間数は、研修目的及び受講負担等を総合的に踏まえ、妥当だったと思いますか。

- 多すぎた
- やや多すぎた
- 妥当であった
- やや少なすぎた
- 少なすぎた



## 問8-4

指定研修のうち、対面で受講するコマ数は、研修目的及び受講負担等を総合的に踏まえて、妥当だったと思いますか。

- 多すぎた
- やや多すぎた
- 妥当であった
- やや少なすぎた
- 少なすぎた

## 問8-5

問8-4でその選択肢を選んだ理由をお答えください。

回答を入力

戻  
る

次  
へ

12/20 ページ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)

Google フォーム



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 (指定研修)

[アカウントを切り替える](#)



共有なし

問9 研修の受講に要した費用についてお伺いします。

問9-1

認定資格の研修費用の自己負担額（総額）をお答えください。

※所属組織から補助を受けた額・受ける見込の額は除き、受講者本人が負担した金額をお答えください。

- 5万円未満
- 5万円以上10万円未満
- 10万円以上20万円未満
- 20万円以上30万円未満
- 30万円以上50万円未満
- 50万円以上

問9-2

研修受講料について、補助を使う予定はありますか。

- はい →問9-2-1へ
- いいえ →問9-3へ

戻  
る

次  
へ

13/20 ページ

[フォームをクリア](#)

Google フォームでパスワードを送信しないでください。



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 （指定研修）

[アカウントを切り替える](#)

共有なし

## 問9-2-1

どこからの補助ですか。

- 県・市町村
- 県・市町村以外の所属組織
- 社会福祉協議会
- その他: \_\_\_\_\_

## 問9-2-2

補助額（見込）をお答えください。

回答を入力

戻  
る

次  
へ

14/20 ページ

[フォームをクリア](#)

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)

Google フォーム



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 (指定研修)

[アカウントを切り替える](#)

共有なし

問9-3

研修参加旅費について、補助を使う予定はありますか。

- はい
- いいえ

戻  
る

次  
へ

15/20 ページ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)

## Google フォーム



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 (指定研修)

[アカウントを切り替える](#)



共有なし

問10 研修の理解度などについてお伺いします。

問10-1

指定研修を通じて、3つの専門性の柱それぞれが向上したと思いますか。

※認定資格に求められる柱とは、下記に示す3つの専門性の柱を指します。

- ①子ども家庭福祉を担うソーシャルワークの専門職としての姿勢を培い維持すること
- ②子どもの発達と養育環境等の子どもを取り巻く環境を理解すること
- ③子どもや家庭への支援の方法を理解・実践できること

①-1

子ども家庭福祉を担うソーシャルワークの専門職としての姿勢を培い維持すること

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない

①-2

直前の設問で、ご自身が選択肢を選んだ理由をお答えください。

回答を入力



②-1

こどもの発達と養育環境等のこどもを取り巻く環境を理解すること

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない

②-2

直前の設問で、ご自身が選択肢を選んだ理由をお答えください。

回答を入力

③-1

こどもや家庭への支援の方法を理解・実践できること

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない

③-2

直前の設問で、ご自身が選択肢を選んだ理由をお答えください。

回答を入力



## 問10-2

指定研修各科目の内容について理解することができましたか。

- 理解できた
- やや理解できた
- あまり理解できなかった
- 理解できなかった

戻  
る

次  
へ

16/20 ページ

[フォームをクリア](#)

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)

Google フォーム



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 (指定研修)

[アカウントを切り替える](#)



共有なし

問11 研修の活用方法についてお伺いします。

問11-1

指定研修の各科目は、所属元業務で必要性を感じていた、または役立つような内容でしたか。

- そうだ
- ややそうだ
- あまりそうではない
- そうではない
- 現在、児童の福祉に係る相談援助業務に全く携わっていない

問11-2

指定研修の受講により、児童の福祉に係る相談援助の領域への学びの意欲が高まりましたか。

- 高まった
- やや高まった
- あまり高まらなかった
- 全く高まらなかった



## 問11-3

指定研修の受講により、他職種への理解が深まりましたか。

- 深まった
- やや深まった
- あまり深まらなかった
- 深まらなかった

## 問11-4

資格取得後のキャリアプランについて、当てはまるものを1つお選びください。

- 引き続き、今の職場で児童福祉に係る相談援助業務に携わりたい
- 引き続き児童福祉に係る相談援助業務に携わりたいが、より資格が活かせる職場への異動・転職も検討している
- 今は主に児童福祉に係る相談援助業務に携わっていないが、近い将来、主に児童福祉に係る相談援助業務に携われるようになりたい
- 今は児童福祉に係る相談援助業務に携わっておらず、この先も児童福祉に係る相談援助業務に携わる予定はない

戻  
る

次  
へ

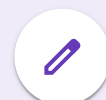
17/20 ページ

[フォームをクリア](#)

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)


Google フォーム



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 （指定研修）

[アカウントを切り替える](#)



 共有なし

## 問12

認定資格の研修受講を通じて、業務に取り組む際の意識や今後のキャリアプランにどのような変化がありましたか。

回答を入力

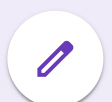
## 問13

認定資格の研修受講全体を通じて、良かったことを自由にお答えください。

回答を入力

## 問14

資格取得者が担うことが期待される業務についてお伺いします。



## 問14-1

資格取得者には専門職として、どのような業務を担うことが期待されていると考えられますか。

- こどもや家庭への専門性の高い相談支援の実施
- こどもや家庭への支援に関する知識・技術の伝達、他職員への指導
- こどもや家庭を支援する地域の関係機関とのネットワーク構築・拡大
- 支援が必要なこどもや家庭の早期発見・早期対応
- 多職種・多機関と連携した業務の推進
- その他: \_\_\_\_\_

## 問14-2

上記の選択肢以外に、資格取得者が担うことが期待されていると考えられる業務があれば、具体的にお書きください。

回答を入力

戻  
る

次  
へ

18/20 ページ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)

Google フォーム



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 (指定研修)

[アカウントを切り替える](#)



共有なし

## 問15

資格取得者の組織・地域・社会における期待役割についてお伺いします。

### 問15-1

資格取得者には専門職として、組織・地域・社会の中で、どのような役割を果たすことが期待されていると考えますか。

- こどもの権利擁護や発達、自立の見通しを捉える視点をはじめとする、こども家庭福祉の専門職としての価値観・姿勢に基づいた実践者としての役割
- 習得したこども家庭福祉の専門的な知識・技術に基づいて職務を遂行する実践者としての役割
- スーパービジョン（他者への助言等）を通じて、こども家庭福祉に関わる組織の職員の資質（専門職としての価値観・姿勢など）を向上させる役割
- 習得したこども家庭福祉の専門的な知識・技術の組織内への共有を通じて、組織の知識・技術の向上を担う指導者としての役割
- 自組織にとどまらず地域を俯瞰的に捉え、関係機関等を含む社会資源の連携を活かしたアプローチの実践者としての役割
- こどもと家庭を取り巻く地域・社会環境の改善に向けて、地域全体のこどもの権利擁護のしくみの拡充等を担うソーシャルアクションの実践者としての役割

### 問15-2

上記の選択肢以外に、資格取得者の組織・地域・社会における期待役割について考えられるものがあれば、具体的にお書きください。

回答を入力



戻  
る

次  
へ

フォームをクリア

19/20 ページ

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)

## Google フォーム



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 (指定研修)

[アカウントを切り替える](#)



共有なし

## 問16

本調査研究事業では、皆様が所属されている組織等の管理職の方にも、研修への期待等についてアンケート調査を実施させていただきたいと考えております。ご自身の所属元に本調査を依頼して良い場合、所属元の名称、部署名、住所をお書きください。お書きいただいた宛先に、調査書類を送付します。調査書類の送付時に、受講者ご自身の個人情報を、受講者直属の管理職に共有することはありませんが、所属組織の管理職に調査書類を送付することが難しいと判断した場合には、当該欄への回答は不要です。

所属元の名称

回答を入力

部署名

回答を入力

住所

回答を入力

戻

る

送

信

20/20 ページ

[フォームをクリア](#)

Google フォームでパスワードを送信しないでください。



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 (追加研修)

[アカウントを切り替える](#)



共有なし

★注意：本調査票では、こども家庭ソーシャルワーカーの「追加」研修について、お答えください★

本調査は、こども家庭ソーシャルワーカーの研修の実施状況や受講状況について、全国の実態を把握することを目的に、研修受講者の皆様に回答を依頼しております。  
お忙しいところ大変申し訳ありませんが、できるだけ速やかにご回答ください。  
最終提出期限：

【2026年2月23日

問合せ先(TEL)： ル／平日10-12、13-17時)

問合せ先(メール)：

調査実施主体：みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社

問1 ご自身が所属する組織についてお伺いします。

※現在所属組織がない場合は、本問を回答頂く必要はありません。



## 問1-1

所属する組織について、当てはまるものをすべてお選びください。

- 都道府県（児童相談所）
- 都道府県（その他）
- 市区町村（こども家庭センター）
- 市区町村（その他）
- 地域子育て相談機関
- 地域子育て支援拠点施設
- 乳児院・母子生活支援施設
- 児童養護施設
- 児童家庭支援センター
- 里親支援センター
- 児童発達支援センター
- 児童自立支援施設
- 児童心理治療施設
- 障害児入所施設
- 障害児通所支援事業所（放課後等デイサービス含む）
- 障害児相談支援事業所
- 保育所・認定こども園
- 家庭支援事業の実施事業所
- 高齢者福祉施設・事業所
- 障害者福祉施設・事業所
- 医療機関
- 学校・教育委員会
- 都道府県・市町村社会福祉協議会
- 求職中



その他: \_\_\_\_\_

## 問1-2

あなたは公務員ですか。

- はい
- いいえ

## 問1-3

雇用形態について、当てはまるものを1つお選びください。

※所属組織が複数ある場合は、児童の福祉にかかる相談援助業務を担う機会が最も多い組織についてお答えください。

- 正規雇用（管理職）
- 正規雇用（非管理職）
- 非正規雇用
- その他: \_\_\_\_\_

次へ

1/10 ページ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)


Google フォーム



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 (追加研修)

[アカウントを切り替える](#)



 共有なし

問2 ご自身の保有資格等についてお伺いします。

問2-1

保有資格について、当てはまるものをすべてお選びください。

- 社会福祉士
- 精神保健福祉士
- 保健師
- 看護師
- 助産師
- 保育士・保育教諭
- 教員免許
- 臨床心理士
- 公認心理師
- 介護福祉士
- 介護支援専門員
- 医師
- その他: \_\_\_\_\_



## 問2-2

受講済の研修について、当てはまるものをすべてお選びください。

- 児童福祉司任用前講習会
- 児童福祉司任用後研修
- 児童福祉司スーパーバイザー研修
- 要保護児童対策調整機関の調整担当者研修
- 基幹的職員研修
- 保育士等キャリアアップ研修（保護者支援・子育て支援）
- その他: \_\_\_\_\_

戻  
る

次  
へ

2/10 ページ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)

Google フォーム



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 (追加研修)

[アカウントを切り替える](#)



共有なし

問3 児童の福祉に係る相談援助業務への従事状況についてお伺いします。

問3-1

受講申込書類に記載された、児童福祉に係る相談援助業務に従事した期間をお答えください。（1年未満は切り捨て、単位：年）

回答を入力

問3-2

現在、児童の福祉に係る相談援助業務にどの程度従事していますか。

- 業務の半分以上が、児童の福祉に係る相談援助業務である
- 業務の半分未満が、児童の福祉に係る相談援助業務である
- 現在は児童の福祉に係る相談援助業務に関わっていない

戻  
る

次  
へ

3/10 ページ

[フォームをクリア](#)

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)

Google フォーム



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 (追加研修)

[アカウントを切り替える](#)



 共有なし

問4 研修受講状況の概要についてお伺いします。

問4-1

追加研修を受講した研修実施機関をお選びください。

- 淑徳大学
- 日本福祉大学
- 株式会社さくら
- 一般社団法人日本ウェルフェアサービス協会
- 筑紫女学園大学



## 問4-2

追加研修を受講した研修実施機関を選定する上で重視したことをすべてお選びください。

- 研修の実施形式（オンライン・対面の比率）
- 研修の実施内容
- 研修の受講料
- 研修講師
- 研修の実施時間帯・曜日
- 対面形式の研修場所
- 所属機関等から受講機関を指定・推薦された
- その他: \_\_\_\_\_

戻  
る

次  
へ

4/10 ページ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)

Google フォーム



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 (追加研修)

[アカウントを切り替える](#)



共有なし

問5 研修受講の経緯についてお伺いします。

問5-1

認定資格について、どのように知りましたか。

- 勤務先で知った（上司や同僚から情報を得た、組織の職員向けに案内があった、など）
- 社外の知人・関係者からの紹介で知った
- オンライン上で知った（SNSなどでの情報収集によって知った、など）
- 参加した会合等（学会・研修会等の機会や、所属する協議会等）で知った
- その他: \_\_\_\_\_

問5-2

認定資格の研修を受講するにあたり、所属組織からの勧奨を受けましたか。

- はい
- いいえ

戻  
る

次  
へ

5/10 ページ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。


このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 （追加研修）

[アカウントを切り替える](#)



 共有なし

問6 研修の内容・方法についてお伺いします。

## 問6-1

追加研修において、認定資格に求められる専門性に沿って必要な内容が網羅されていたと思いますか。

※認定資格に求められる柱とは、下記に示す3つの専門性の柱を指します。

- ①子ども家庭福祉を担うソーシャルワークの専門職としての姿勢を培い維持すること
- ②子どもの発達と養育環境等の子どもを取り巻く環境を理解すること
- ③子どもや家庭への支援の方法を理解・実践できること

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない

## 問6-2

追加研修における、具体的な援助場面を想定して行われていた実技指導等（ロールプレイング、グループワーク、事例検討等）は、実践的な能力を修得する上で役立ちましたか。

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない



## 問6-3

追加研修において、具体的な内容を含む事例等は、実践的な能力を習得する上で役立ちましたか。

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない

## 問6-4

追加研修の見学実習を通じて、支援における姿勢や価値観等を修得できたと感じますか。

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない

## 問6-5

追加研修は、経験を踏まえた自己覚知や学びにつながる内容であったと思いますか。

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない



## 問6-6

追加研修の講義の中で、既に知っていた内容の割合はどの程度でしたか。

- 3割未満
- 3割以上6割未満
- 6割以上9割未満
- 9割以上

## 問6-7

追加研修において、各科目の到達目標を達成する観点から、実施形式（講義、演習）の在り方について、あなたの考えに最も近いものを1つお選びください。

- 講義の割合をもっと増やしてほしい
- 実施形式は適正であった
- 演習の割合をもっと増やしてほしい

## 問6-8

研修では研修参加者同士が対面で集まる機会がありましたか？

- あった →問6-9へ
- なかった →問6-11へ

## 問6-9

問6-8で「あった」を選んだ人にお伺いします。

対面で集まるには、費用も時間もかかりますが、対面での参集機会があったことについてどう思いますか。

- 対面での参集機会があってよかった
- あまり必要性を感じなかった



## 問6-10

問6-9でその選択肢を選んだ理由をお答えください。

回答を入力

## 問6-11

問6-8で「なかった」を選んだ人にお伺いします。  
対面で集う機会はあったほうがよかったですか。

- あったほうがよかった
- あまり必要性を感じなかった

## 問6-12

問6-11でその選択肢を選んだ理由をお答えください。

回答を入力

戻  
る

次  
へ

6/10 ページ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)

Google フォーム



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 (追加研修)

[アカウントを切り替える](#)



共有なし

問7 研修の講師についてお伺いします。

問7-1

追加研修において、講師の指導は、期待水準を満たしていましたか。

- 8割以上の講師が満たしていた
- 5～8割程度の講師が満たしていた
- 2～5割程度の講師が満たしていた
- 2割未満の講師が満たしていた

問7-2

追加研修の演習科目における講師と受講者との比率の妥当性について、当てはまるものを1つお選びください。

- 妥当であった
- やや妥当であった
- あまり妥当ではなかった
- 妥当ではなかった

戻

次

る

へ

7/10 ページ

[フォームをクリア](#)

Google フォームでパスワードを送信しないでください。



このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 (追加研修)

[アカウントを切り替える](#)



共有なし

問8 研修の受講に要した時間についてお伺いします。

問8-1

追加研修の受講（参集・対面形式で開催された科目全体）にあたって宿泊を行った日数の合計をお答えください。

（単位：日）

回答を入力

問8-2

追加研修の受講時間の取扱いとして、当てはまるものをお選びください。

- 業務時間内扱い
- 業務時間外扱い

問8-3

追加研修の受講時間数は、研修目的及び受講負担等を総合的に踏まえ、妥当だったと思いますか。

- 多すぎた
- やや多すぎた
- 妥当であった
- やや少なすぎた
- 少なすぎた



## 問8-4

追加研修のうち、対面で受講するコマ数は、研修目的及び受講負担等を総合的に踏まえて、妥当だったと思いますか。

- 多すぎた
- やや多すぎた
- 妥当であった
- やや少なすぎた
- 少なすぎた

## 問8-5

問8-4でその選択肢を選んだ理由をお答えください。

回答を入力

戻  
る

次  
へ

8/10 ページ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)

Google フォーム



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 (追加研修)

[アカウントを切り替える](#)



共有なし

問9 研修の理解度などについてお伺いします。

問9-1

追加研修を通じて、3つの専門性の柱それぞれが向上したと思いますか。

※認定資格に求められる柱とは、下記に示す3つの専門性の柱を指します。

- ①子ども家庭福祉を担うソーシャルワークの専門職としての姿勢を培い維持すること
- ②子どもの発達と養育環境等の子どもを取り巻く環境を理解すること
- ③子どもや家庭への支援の方法を理解・実践できること

①-1

子ども家庭福祉を担うソーシャルワークの専門職としての姿勢を培い維持すること

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない

①-2

直前の設問で、ご自身が選択肢を選んだ理由をお答えください。

回答を入力



②-1

こどもの発達と養育環境等のこどもを取り巻く環境を理解すること

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない

②-2

直前の設問で、ご自身が選択肢を選んだ理由をお答えください。

回答を入力

③-1

こどもや家庭への支援の方法を理解・実践できること

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない

③-2

直前の設問で、ご自身が選択肢を選んだ理由をお答えください。

回答を入力



## 問9-2

追加研修各科目の内容について理解することができましたか。

- 理解できた
- やや理解できた
- あまり理解できなかった
- 理解できなかった

戻  
る

次  
へ

9/10 ページ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)


Google フォーム



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 (追加研修)

[アカウントを切り替える](#)



 共有なし

問10 研修の活用方法についてお伺いします。

問10-1

追加研修の各科目は、所属元業務で必要性を感じていた、または役立つような内容でしたか。

- そうだ
- ややそうだ
- あまりそうではない
- そうではない
- 現在、児童の福祉に係る相談援助業務に全く携わっていない

問10-2

追加研修の受講により、児童の福祉に係る相談援助の領域への学びの意欲が高まりましたか。

- 高まった
- やや高まった
- あまり高まらなかった
- 全く高まらなかった



## 問10-3

追加研修の受講により、他職種への理解が深まりましたか

- 深まった
- やや深まった
- あまり深まらなかった
- 深まらなかった

## 問10-4

資格取得後のキャリアプランについて、当てはまるものを1つお選びください。

- 引き続き、今の職場で児童福祉に係る相談援助業務に携わりたい
- 引き続き児童福祉に係る相談援助業務に携わりたいが、より資格が活かせる職場への異動・転職も検討している
- 今は主に児童福祉に係る相談援助業務に携わっていないが、近い将来、主に児童福祉に係る相談援助業務に携われるようになりたい
- 今は児童福祉に係る相談援助業務に携わっておらず、この先も児童福祉に係る相談援助業務に携わる予定はない

## 問11-1

こども家庭ソーシャルワーカーの資格取得者に期待される役割としてどのようなものが考えられますか。

- こどもと家庭への専門性の高い相談支援の実施
- 組織内におけるこども家庭支援に関する知識・技術の伝達
- こどもや家庭を支援する地域の関係機関とのネットワーク構築・拡大
- 支援が必要なこどもや家庭の早期発見・早期対応
- 多職種・多機関と連携した業務の推進
- その他: \_\_\_\_\_



問11-2

資格取得者に期待される役割について具体的にご記入ください。

回答を入力

戻  
る

送  
信

10/10 ページ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)

Google フォーム



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 (SW研修)

[アカウントを切り替える](#)



共有なし

★注意：本調査票では、こども家庭ソーシャルワーカーの「SW」研修について、お答えください★

本調査は、こども家庭ソーシャルワーカーの研修の実施状況や受講状況について、全国の実態を把握することを目的に、研修受講者の皆様に回答を依頼しております。お忙しいところ大変申し訳ありませんが、できるだけ速やかにご回答ください。  
最終提出期限：

【2026年2月23日

問合せ先(TEL)： ル／平日10-12、13-17時)

問合せ先(メール)：

調査実施主体：みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社

問1 ご自身が所属する組織についてお伺いします。

※現在所属組織がない場合は、本問を回答頂く必要はありません。



## 問1-1

所属する組織について、当てはまるものをすべてお選びください。

- 都道府県（児童相談所）
- 都道府県（その他）
- 市区町村（こども家庭センター）
- 市区町村（その他）
- 地域子育て相談機関
- 地域子育て支援拠点施設
- 乳児院・母子生活支援施設
- 児童養護施設
- 児童家庭支援センター
- 里親支援センター
- 児童発達支援センター
- 児童自立支援施設
- 児童心理治療施設
- 障害児入所施設
- 障害児通所支援事業所（放課後等デイサービス含む）
- 障害児相談支援事業所
- 保育所・認定こども園
- 家庭支援事業の実施事業所
- 高齢者福祉施設・事業所
- 障害者福祉施設・事業所
- 医療機関
- 学校・教育委員会
- 都道府県・市町村社会福祉協議会
- 求職中



その他: \_\_\_\_\_

### 問1-2

あなたは公務員ですか。

- はい
- いいえ

### 問1-3

雇用形態について、当てはまるものを1つお選びください。

※所属組織が複数ある場合は、児童の福祉にかかる相談援助業務を担う機会が最も多い組織についてお答えください。

- 正規雇用（管理職）
- 正規雇用（非管理職）
- 非正規雇用
- その他: \_\_\_\_\_

次へ

1/10 ページ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)


Google フォーム



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 (SW研修)

[アカウントを切り替える](#)



 共有なし

問2 ご自身の保有資格等についてお伺いします。

問2-1

保有資格について、当てはまるものをすべてお選びください。

- 社会福祉士
- 精神保健福祉士
- 保健師
- 看護師
- 助産師
- 保育士・保育教諭
- 教員免許
- 臨床心理士
- 公認心理師
- 介護福祉士
- 介護支援専門員
- 医師
- その他: \_\_\_\_\_



## 問2-2

受講済の研修について、当てはまるものをすべてお選びください。

- 児童福祉司任用前講習会
- 児童福祉司任用後研修
- 児童福祉司スーパーバイザー研修
- 要保護児童対策調整機関の調整担当者研修
- 基幹的職員研修
- 保育士等キャリアアップ研修（保護者支援・子育て支援）
- その他: \_\_\_\_\_

戻  
る

次  
へ

2/10 ページ

[フォームをクリア](#)

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)


Google フォーム



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 (SW研修)

[アカウントを切り替える](#)



 共有なし

問3 児童の福祉に係る相談援助業務への従事状況についてお伺いします。

問3-1

受講申込書類に記載された、児童福祉に係る相談援助業務に従事した期間をお答えください。(1年未満は切り捨て、単位：年)

3号は「主として児童福祉に係る」相談援助業務の従事期間

4号は「児童福祉に係る」相談援助業務の従事期間

※3号・4号は研修受講ルートを指しています

回答を入力

問3-2

現在、児童の福祉に係る相談援助業務にどの程度従事していますか。

- 業務の半分以上が、児童の福祉に係る相談援助業務である
- 業務の半分未満が、児童の福祉に係る相談援助業務である
- 現在は児童の福祉に係る相談援助業務に関わっていない

戻  
る

次  
へ

3/10 ページ

[フォームをクリア](#)

Google フォームでパスワードを送信しないでください。


このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 (SW研修)

[アカウントを切り替える](#)



 共有なし

問4 研修受講状況の概要についてお伺いします。

問4-1

SW研修を受講した研修実施機関をお選びください。

- 日本福祉大学
- 株式会社さくら
- 日本医療大学
- 一般社団法人日本ウェルフェアサービス協会

問4-2

SW研修を受講した研修実施機関を選定する上で重視したことをすべてお選びください。

- 研修の実施形式（オンライン・対面の比率）
- 研修の実施内容
- 研修の受講料
- 研修講師
- 研修の実施時間帯・曜日
- 対面形式の研修場所
- 所属機関等から受講機関を指定・推薦された
- その他: \_\_\_\_\_



## 問4-3

ご自身の研修受講ルートとして、当てはまるものを1つお選びください。

- 相談援助実務経験者ルート (第3号)
- 保育所等保育士ルート (第4号)

戻  
る

次  
へ

4/10 ページ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)

Google フォーム



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 (SW研修)

[アカウントを切り替える](#)



共有なし

問5 研修受講の経緯についてお伺いします。

問5-1

認定資格について、どのように知りましたか。

- 勤務先で知った（上司や同僚から情報を得た、組織の職員向けに案内があった、など）
- 社外の知人・関係者からの紹介で知った
- オンライン上で知った（SNSなどでの情報収集によって知った、など）
- 参加した会合等（学会・研修会等の機会や、所属する協議会等）で知った
- その他: \_\_\_\_\_

問5-2

認定資格の研修を受講するにあたり、所属組織からの勧奨を受けましたか。

- はい
- いいえ

戻  
る

次  
へ

5/10 ページ

[フォームをクリア](#)

Google フォームでパスワードを送信しないでください。


このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 (SW研修)

[アカウントを切り替える](#)



 共有なし

問6 研修の内容・方法についてお伺いします。

## 問6-1

SW研修において、認定資格に求められる専門性に沿って必要な内容が網羅されていたと思いますか。

※認定資格に求められる柱とは、下記に示す3つの専門性の柱を指します。

- ①子ども家庭福祉を担うソーシャルワークの専門職としての姿勢を培い維持すること
- ②子どもの発達と養育環境等の子どもを取り巻く環境を理解すること
- ③子どもや家庭への支援の方法を理解・実践できること

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない

## 問6-2

SW研修における、具体的な援助場面を想定して行われていた実技指導等（ロールプレイング、グループワーク、事例検討等）は、実践的な能力を修得する上で役立ちましたか。

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない



## 問6-3

SW研修において、具体的な内容を含む事例等は、実践的な能力を習得する上で役立ちましたか。

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない

## 問6-4

SW研修の見学実習を通じて、支援における姿勢や価値観等を修得できたと感じますか。

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない

## 問6-5

SW研修は、経験を踏まえた自己覚知や学びにつながる内容であったと思いますか。

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない



## 問6-6

SW研修の講義の中で、既に知っていた内容の割合はどの程度でしたか。

- 3割未満
- 3割以上6割未満
- 6割以上9割未満
- 9割以上

## 問6-7

SW研修において、各科目の到達目標を達成する観点から、実施形式（講義、演習）の在り方について、あなたの考えに最も近いものを1つお選びください。

- 講義の割合をもっと増やしてほしい
- 実施形式は適正であった
- 演習の割合をもっと増やしてほしい

## 問6-8

研修では研修参加者同士が対面で集まる機会がありましたか？

- あった →問6-9へ
- なかった →問6-11へ

## 問6-9

問6-8で「あった」を選んだ人にお伺いします。

対面で集まるには、費用も時間もかかりますが、対面での参集機会があったことについてどう思いますか。

- 対面での参集機会があってよかった
- あまり必要性を感じなかった



## 問6-10

問6-9でその選択肢を選んだ理由をお答えください。

回答を入力

## 問6-11

問6-8で「なかった」を選んだ人にお伺いします。  
対面で集う機会はあったほうがよかったですか。

- あったほうがよかった
- あまり必要性を感じなかった

## 問6-12

問6-11でその選択肢を選んだ理由をお答えください。

回答を入力

戻  
る

次  
へ

6/10 ページ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)

Google フォーム



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 (SW研修)

[アカウントを切り替える](#)



共有なし

問7 研修の講師についてお伺いします。

問7-1

SW研修において、講師の指導は、期待水準を満たしていましたか。

- 8割以上の講師が満たしていた
- 5～8割程度の講師が満たしていた
- 2～5割程度の講師が満たしていた
- 2割未満の講師が満たしていた

問7-2

SW研修の演習科目における講師と受講者との比率の妥当性について、当てはまるものを1つお選びください。

- 妥当であった
- やや妥当であった
- あまり妥当ではなかった
- 妥当ではなかった

戻

る

次

へ

[フォームをクリア](#)

7/10 ページ

Google フォームでパスワードを送信しないでください。



このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 (SW研修)

[アカウントを切り替える](#)



共有なし

問8 研修の受講に要した時間についてお伺いします。

問8-1

SW研修の受講（参集・対面形式で開催された科目全体）にあたって宿泊を行った日数の合計をお答えください。

（単位：日）

回答を入力

問8-2

SW研修の受講時間の取扱いとして、当てはまるものをお選びください。

- 業務時間内扱い
- 業務時間外扱い

問8-3

SW研修の受講時間数は、研修目的及び受講負担等を総合的に踏まえ、妥当だったと思いますか。

- 多すぎた
- やや多すぎた
- 妥当であった
- やや少なすぎた
- 少なすぎた



## 問8-4

SW研修のうち、対面で受講するコマ数は、研修目的及び受講負担等を総合的に踏まえて、妥当だったと思いますか。

- 多すぎた
- やや多すぎた
- 妥当であった
- やや少なすぎた
- 少なすぎた

## 問8-5

問8-4でその選択肢を選んだ理由をお答えください。

回答を入力

戻  
る

次  
へ

8/10 ページ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)


Google フォーム



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 (SW研修)

[アカウントを切り替える](#)



 共有なし

問9 研修の理解度などについてお伺いします。

問9-1

SW研修を通じて、3つの専門性の柱それぞれが向上したと思いますか。

※認定資格に求められる柱とは、下記に示す3つの専門性の柱を指します。

- ① 子どもの家庭福祉を担うソーシャルワークの専門職としての姿勢を培い維持すること
- ② 子どもの発達と養育環境等の子どもを取り巻く環境を理解すること
- ③ 子どもや家庭への支援の方法を理解・実践できること

①-1

子ども家庭福祉を担うソーシャルワークの専門職としての姿勢を培い維持すること

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない

①-2

直前の設問で、ご自身が選択肢を選んだ理由をお答えください。

回答を入力



②-1

こどもの発達と養育環境等のこどもを取り巻く環境を理解すること

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない

②-2

直前の設問で、ご自身が選択肢を選んだ理由をお答えください。

回答を入力

③-1

こどもや家庭への支援の方法を理解・実践できること

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない

③-2

直前の設問で、ご自身が選択肢を選んだ理由をお答えください。

回答を入力



## 問9-2

SW研修各科目の内容について理解することができましたか。

- 理解できた
- やや理解できた
- あまり理解できなかった
- 理解できなかった

戻  
る

次  
へ

9/10 ページ

[フォームをクリア](#)

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)


Google フォーム



# 認定資格の研修に関するアンケート調査 (SW研修)

[アカウントを切り替える](#)



 共有なし

問10 研修の活用方法についてお伺いします。

問10-1

SW研修の各科目は、所属元業務で必要性を感じていた、または役立つような内容でしたか。

- そうだ
- ややそうだ
- あまりそうではない
- そうではない
- 現在、児童の福祉に係る相談援助業務に全く携わっていない

問10-2

SW研修の受講により、児童の福祉に係る相談援助の領域への学びの意欲が高まりましたか。

- 高まった
- やや高まった
- あまり高まらなかった
- 全く高まらなかった



## 問10-3

SW研修の受講により、他職種への理解が深まりましたか

- 深まった
- やや深まった
- あまり深まらなかった
- 深まらなかった

## 問10-4

資格取得後のキャリアプランについて、当てはまるものを1つお選びください。

- 引き続き、今の職場で児童福祉に係る相談援助業務に携わりたい
- 引き続き児童福祉に係る相談援助業務に携わりたいが、より資格が活かせる職場への異動・転職も検討している
- 今は主に児童福祉に係る相談援助業務に携わっていないが、近い将来、主に児童福祉に係る相談援助業務に携われるようになりたい
- 今は児童福祉に係る相談援助業務に携わっておらず、この先も児童福祉に係る相談援助業務に携わる予定はない

## 問11-1

こども家庭ソーシャルワーカーの資格取得者に期待される役割としてどのようなものが考えられますか。

- こどもと家庭への専門性の高い相談支援の実施
- 組織内におけるこども家庭支援に関する知識・技術の伝達
- こどもや家庭を支援する地域の関係機関とのネットワーク構築・拡大
- 支援が必要なこどもや家庭の早期発見・早期対応
- 多職種・多機関と連携した業務の推進
- その他: \_\_\_\_\_



問11-2

資格取得者に期待される役割について具体的にご記入ください。

回答を入力

戻  
る

送  
信

10/10 ページ

[フォームをクリア](#)

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)

Google フォーム



## 認定資格の研修に関するアンケート調査

### 調査ご協力をお願い

#### 【本調査について】

今般、私どもみずほりサーチ&テクノロジーズ株式会社では、こども家庭庁より、令和7年度子ども・子育て支援等推進調査研究事業補助金を受け「こども家庭ソーシャルワーカー認定資格創設による効果の把握方法及び資格取得者の継続的な学びの場の在り方の検討に関する調査研究」を実施しております。本事業は、こども家庭ソーシャルワーカーの認定資格に関する研修の質を担保し、また制度の改善を図る観点から、研修の実施状況や受講状況の把握と評価、及び研修の今後の在り方に係る検討材料の収集を目的としております。

上記の一環として、研修実施機関や受講者、受講者の所属機関等を対象として、アンケート調査を実施することいたしました。本調査票は、「**受講者の所属組織**」を対象として、研修受講の組織勸奨状況・受講者への期待・研修受講に向けた貴組織の負担の状況をお伺いするものです。

お忙しいところ申し訳ありませんが、本事業の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

※ 本調査票は、貴組織の受講者より共有いただいた宛先にお送りしております。もし今年度の受講者の所属部署が異なる場合は、お手数ですが、本調査票を担当部署にお渡しください。

#### 【調査票のご記入について】

※ 貴部署の管理職の方に、ご回答をお願いいたします。

※ 各設問について、該当するものに○をご記入ください。

※ 数値を記入する設問は、各設問の注記に従って数値をご記入ください。また、該当しない場合は「0（ゼロ）」、わからない場合は「-」をご記入ください。

※ 回答が困難な設問や、回答したくない設問は、未記入のままご返送いただいて構いません。

※ ご回答時点の状況についてお答えください。

※ 記入が終わりましたら、令和8年3月20日迄に、同封の返信用封筒にてご返送くださいますようお願いいたします。

組織名			
部署名			
電話番号		ご担当者名	

※ 「部署名」欄には、本調査資料の宛名に記載された部署の名称（宛名に記載された部署名と今年度の受講者の所属部署が異なる場合は、正しい部署名）をお書きください。

#### 【お問い合わせ先】

〒101-8443 東京都千代田区神田錦町二丁目3番地

みずほりサーチ&テクノロジーズ株式会社 社会政策コンサルティング部

担当：松山、佐藤、安保

問合せ窓口（TEL）： XXXXXXXXXX（フリーダイヤル／平日10-12、13-17時）

問合せ窓口（Email）： XXXXXXXXXX

【本調査における用語の定義について】

「認定資格」とは、こども家庭ソーシャルワーカー資格を指します。

「貴部署」とは、本調査票1ページ目の「部署名」欄に記載いただいた部署を指します。

「組織勸奨」とは、職員に対して、組織の方針として認定資格の取得を勸奨することを指します。

問1. 貴部署の状況についてお伺いします。

問1-1 今年度、貴部署に認定資格の受講者がいたことを把握していましたか。(1つに○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問1-2 貴部署内では、認定資格研修の存在が、どの程度認知されていますか。(1つに○)

1. 一定認知されている (過半数の職員が認知していると思う)	2. 認知している職員もいる (2～5割程度の職員が認知していると思う)
3. ほぼ認知されていない (2割未満の職員が認知していると思う)	

問1-3 認定資格について、以下のうち、ご存知の内容を全てお選びください。(該当するもの全てに○)

1. 研修の受講要件	2. 研修時間の長さ
3. 今年度の研修実施機関	4. 資格取得者に求められる3つの専門性の柱
5. 研修科目	6. 各研修科目の大まかな内容・到達目標
7. 国による補助制度(こども家庭ソーシャルワーカー取得促進制度)	

問1-4 今後、組織として継続的に認定資格の取得について勸奨を行っていく予定はありますか。(1つに○)

1. はい →どのような人に認定資格の研修の受講を薦めたいと考えていますか。(下欄に自由記述)
( _____ )
2. いいえ

問1-5 貴組織の人材育成計画等に、本資格取得に関する記載はありますか。(1つに○)

1. ある →本資格の取得について記載している文書名( _____ )
2. 現在はない(今後検討予定)
3. 現在はない(今後も検討の予定なし)

問2. 今年度の研修受講の組織勸奨状況についてお伺いします。

問2-1 今年度の貴部署での認定資格の研修受講人数について、お答えください。(数値回答)

①研修受講人数(ご自身が把握している範囲での総数)	_____ 人
②うち、組織勸奨により研修を受講した人数 →回答が「ゼロ」の場合、問2-6へ	_____ 人

問2-2～問2-5は、問2-1②「組織勸奨により研修を受講した人数」の詳細に関する設問です。  
問2-1②の回答が「ゼロ」である場合は、問2-6にお進みください。

問2-2 組織勸奨により認定資格の研修を受講させる職員を、どのような基準で選定しましたか。  
(該当するもの全てに○)

1. 業務経験年数	2. 資格保有状況
3. 担当業務	
4. その他(具体的に _____)	

問2-3 貴部署で、組織勸奨により認定資格の研修を受講した者を、児童福祉分野における経験年数別にお答えください。(数値回答)

①1年未満	_____ 人
②1年以上3年未満	_____ 人
③3年以上5年未満	_____ 人
④5年以上10年未満	_____ 人
⑤10年以上	_____ 人

問2-4 貴部署で、組織勸奨により認定資格の研修を受講した者の業務について、お答えください。  
(数値回答)

	a.0割	b.0~5割	c.5~10割	d.10割
①業務に占める相談支援の割合	_____ 人	_____ 人	_____ 人	_____ 人
②業務に占める直接支援の割合	_____ 人	_____ 人	_____ 人	_____ 人
③他職員へのスーパーバイズを担う人数	_____ 人			

問2-5 貴部署で、組織勸奨により認定資格の研修を受講した者のうち、次に示す各種資格を保有している者の人数をお答えください。(数値回答)

①社会福祉士・精神保健福祉士	_____ 人
②保健師	_____ 人
③保育士	_____ 人
④その他(具体的に)	職種:( )人数:_____ 人

問2-6 貴部署で、受講を希望した職員が、受講に至らなかったケースはありますか。(1つに○)

1. ある →問2-7へ	2. ない →問3へ
--------------	------------

問2-7 貴部署で、受講を希望したが受講に至らなかったケースが発生した理由として、当てはまるものを全てお選びください。(該当するもの全てに○)

- |  |  |
|--|--|
| 1. 受講希望者本人に帰属する理由(申込要件を満たしていないかった、受講の抽選に外れた、等) | 2. 受講希望者の業務量に帰属する理由(業務量が多すぎて研修を受講する時間的余裕がない、等) |
| 3. その他(下枠内に理由を具体的にご記入ください)                     |  |

--

問3. 中長期的な研修受講の組織勧奨予定についてお伺いします。

問3-1 貴組織では、中長期的に、こども家庭ソーシャルワーカー資格取得者を計画的に養成する意向がありますか。(1つに○)

- |                          |
|--------------------------|
| 1. ある → 次の設問へ            |
| 2. ない → 下記に理由を記載した上で、問4へ |
| 計画的な養成予定がない理由: ( _____ ) |

以降の設問は、問3-1の詳細に関する設問です。 問3-1の回答が「ない」である場合は、問4にお進みください。
---

問3-2 中長期的に、組織勧奨により認定資格の研修を受講させる職員の人数について、貴組織としての目安があれば、お書きください。(例: 令和○年度までにおおよそ○名取得、など)

--

問3-3 中長期的に、組織勧奨により認定資格の研修を優先的に受講させる職員の属性(業務経験年数、職種、資格保有状況、担当業務、等)について、方針があれば、お書きください。(自由記述)

--

問4.研修に期待していることとして当てはまるものを全てお選びください。(該当するもの全てに○)

1. 受講者の子どもと家庭への相談援助の技能向上
2. 受講者の関係機関との連携の技能向上
3. 受講者の他職員へのスーパーバイズの技能向上
4. 受講者の自己成長(特定の技能の向上に限らないもの)
5. 受講者同士でのネットワーク形成
6. 受講者が資格を取得することによる、専門家としての社会的信用度の向上
7. 有資格者がいることによる組織の社会的信用度の向上
8. その他(具体的に \_\_\_\_\_ )

問5 資格取得者が担うことが期待される業務についてお伺いします。

問5-1. 資格取得者には専門職として、どのような業務を担うことを期待していますか。

1. 子どもや家庭への専門性の高い相談支援の実施
2. 子どもや家庭への支援に関する知識・技術の伝達、他職員への指導
3. 子どもや家庭を支援する地域の関係機関とのネットワーク構築・拡大
4. 支援が必要な子どもや家庭の早期発見・早期対応
5. 多職種・多機関と連携した業務の推進
6. その他

問5-2. 上記の選択肢以外に、資格取得者が担うことを期待している業務があれば具体的にお書きください。

問6資格取得者の組織・地域・社会における期待役割についてお伺いします。

問6-1. 資格取得者には専門職として、組織・地域・社会の中でどのような役割を果たすことを期待していますか。

- 1. こどもの権利擁護や発達、自立の見通しを捉える視点をはじめとする、こども家庭福祉の専門職としての価値観・姿勢に基づいた実践者としての役割
- 2. 習得したこども家庭福祉の専門的な知識・技術に基づいて職務を遂行する実践者としての役割
- 3. スーパービジョン(他者への助言等)を通じて、こども家庭福祉に関わる組織の職員の資質(専門職としての価値観・姿勢など)を向上させる役割
- 4. 習得したこども家庭福祉の専門的な知識・技術の組織内への共有を通じて、組織の知識・技術の向上を担う指導者としての役割
- 5. 自組織にとどまらず地域を俯瞰的に捉え、関係機関等を含む社会資源の連携を活かしたアプローチの実践者としての役割
- 6. こどもと家庭を取り巻く地域・社会環境の改善に向けて、地域全体のこどもの権利擁護のしくみの拡充等を担うソーシャルアクションの実践者としての役割

問6-2. 上記の選択肢以外に、資格取得者の組織・地域・社会における期待役割について考えられるものがあれば、具体的にお書きください。

問7 研修受講に向けた費用負担の状況についてお伺いします。今年度、問2-1でご回答いただいた職員(今年度研修を受講している職員)が認定資格を取得するために、組織として負担予定の金額(1人あたりの平均額)をお答えください。(数値回答)

\_\_\_\_\_ 円

問8 研修受講に向けた業務調整の状況についてお伺いします。

問8-1 認定資格の受講者の不在を補填するための業務調整を行いましたか。(1つに○)

- 1. ある(具体的な調整方法をご記入ください: \_\_\_\_\_)
- 2. ない

問8-2 認定資格の受講者の不在を補填するための業務調整を行った場合、調整の負担感についてお答えください。(1つに○)

- 1. 負担が大きかった
- 2. 負担がやや大きかった
- 3. 負担がやや小さかった
- 4. 負担が小さかった

問8-3 認定資格の受講者の不在を補填するための業務調整を行った場合、調整で負担だと感じた内容を具体的に記入ください。(自由記述)

問9-1. 児童家庭ソーシャルワーカーの資格を有していることは、貴組織の採用選考においてプラスに評価されると思いますか。(1つに○)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問9-2. 問9-1の回答理由についてご記入ください。(自由回答)

問10 資格取得者への処遇改善の検討状況について、当てはまるものをお選びください。(1つに○)

「1. 処遇改善を進める予定がある」を選択した場合、具体的な改善内容をご記入ください。

「2. 処遇改善を検討している」を選択した場合、具体的な検討内容をご記入ください。

1. 処遇改善を進める予定がある → 具体的な改善内容 ( \_\_\_\_\_ )
  2. 処遇改善を検討している → 具体的な検討内容 ( \_\_\_\_\_ )
  3. 処遇改善を行う予定なし

★★★ 調査項目は以上です。調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。★★★

調査回答〆切: 令和8年3月20日(金)